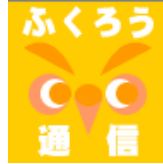




日本ボーイスカウト 愛知連盟 名古屋第67団

BOY SCOUTS Nagoya Group 67

# 名古屋67団



ふくろう通信 34号  
H18年10月1日発行

## 第14回日本ジャンボリー

BS イーグル班 小川 泰生

初めてのジャンボリーは驚きの連続だった。まず、到着してあまりの暑さに驚いた。幸いにも仮設シャワーがあった為、汗ばんで気持ち悪い状態から抜け出すことはできた。が、座っているだけでも暑い、日陰にいても暑いということには変わりがなかった。次に会場の広さ、テントの数に驚いた。全国47都道府県プラス39の国から訪れた総勢2万を超える人々が珠洲に集まったことを想像するのは難しいがなんとなくそのスケールの大きさがわかるだろう…。あと、プログラムの内容。全国規模だけあって色々なものがあり、どれもみんな楽しそうだった。また、閉会式の盛り上がりは言葉では表せないほどのすごさだった。最後にこの様な貴重で楽しく、自分のためになるジャンボリーに参加させて頂いたことに感謝します。

## 入隊してから

VS スカウト 榎木田 康輔

ぼくは、今年、新しくベンチャースカウトへと上進した山崎くんのベンチャー章課題である単独キャンプの安全確認として一緒についていきました。ぼくも昨年、単独キャンプを経験しました。単独キャンプというものは、カブスカウト、ボーイスカウトで経験するキャンプとは違い、キャンプで行うテントサイトの確保、設営、食事の準備、寝る時、撤収といった全ての事を一人で行わなくてはなりません。隊キャンプ、班キャンプでは、仲間と楽しくキャンプをして、絆を深めることができますが、単独キャンプでは、たくさんの方が身につきます。1つめは、「一人でやる」ということで、これは、個人の技能が向上するということです。2つめは、「精神力」です。何もかも一人で言い、夜も一人で過ごさなければなりません。3つめは、何といても「達成した」「やり遂げた」ということです。たった一人でキャンプ地まで行き、食事のメニューも考え、一泊し、撤収する。この単独キャンプを行うと、ものすごく「達成感」という想いで満ち溢れます。おそらく今回、山崎くんも、そういった想いでいっぱいだったと思います。あと、是非、今のカブスカウト、ボーイスカウトの後輩のスカウトにも、ベンチャースカウトに上進して、単独キャンプを行って、「達成感」というものを味わってもらいたいと思います。



## ボーイスカウト最後のキャンプ

BSイーグル班 加藤 飛之

8月12日の朝方、僕達67団はハウスを後に、御嶽山の日和田高原に向かいました。目的地に到着し、テントの設営を行い、その日の晩にご飯を作りました。火を起こした直後、僕は経験したことのない雷雨にあいました。その夜は最悪でしたが最高の経験になりました。僕達は火が消えないように近くからまきを拾ってきました。初日に体験で来た西尾君は初めての体験がこんな天気だったにもかかわらず、まきを拾ってきてくれました。おかげで暖かいご飯をイーグル班のみんなで食べることが出来ました。2日目、昼頃、僕達67団はツリークライミングをしました。僕は初めてすぐはなかなか上に登ることが出来ず一苦労でしたが、だんだん慣れてあっという間に天辺にたどり着きました。下から見ているよりも予想以上に高く、団の仲間や隊長さん達がとても小さく見えました。午後2時頃、リンツーハイクで決まったペアと一緒に目的地を目指しました。とても辛く、足が痛くなり、歩くのが嫌になった時もありましたが西野峠に着いた時、僕は、「自分の足でこの峠を登ったんだ」と、心の底から叫びました。疲れが吹き飛び、峠の下りは走りました。目的地に着いたときはもう日が暮れそうでした。急いでペグ、シートなどでテントを設営しました。僕はテントを設営した後、コンロで仲間と自分のご飯を作りました。インスタントながらも家庭で食す味とはまた違いとても美味しかったのを覚えています。朝5時ごろテントを片付けて目的地である日和田高原へ出発しました。昨日の疲れが歩くペースを容赦なく落としました。でもボーイスカウト最後ののに途中でリタイヤは嫌だという気持ちが心と体を支え、無事、日和田高原に到着しました。早速、報告書を書き、食卓の椅子に座り休みました。ですがあの達成感は今でも忘れられません。その夜は初日と違い、雨もあまり降らずに過ごす事が出来ました。3日目、とうとう67団の仲間達と過ごす最後の朝を迎えました。いつもの朝と変わらず朝ごはんを作りテントを解体しました。そして宿の中で昼ごはんを食べ、バスに乗り僕最後のキャンプは終わりました。今回のキャンプは、通常では体験することが出来ないことを体験させていただき、山崎隊長達にはとても感謝しています。沢山の経験と思い出を忘れずにこれからもこの経験を活かしていきたいと思います。2年間本当にありがとうございました。



## 楽しかった最後のキャンプファイヤー

CSスカウト 山崎 裕大

僕は、最後の舎営を終えました。カブ隊の中で一番楽しかった舎営といえば、最後の舎営です。最後のキャンプファイヤーなので、今までよりも、もっともったいいスタンプをやり、ボーイ隊長や他の人達にも笑ってもらい、よかったです。また、カブ隊ソーランでも上手にできてよかったです。ボーイ隊の人達は、カブ隊より、はずかしがり屋が多いと思いました。ベンチャー隊の人達は、「ビスタ」をやり、僕も大きな声で、「ビスタ！」と言いながら、リズムをとり、とても楽しかったです。隊長さん達は、「うんどこ、どっこいしょ。」と言い、団委員長もリズムにのりながら、「うんどこ、どっこいしょ。」と言い、他の人も「うんどこ、どっこいしょ。」と言いながら、ボーイ隊長は息を切らすまでやりました。とても楽しかったです。カブ隊の二組のスタンプは、お笑い中心で、おなかがいたくなるほど笑いました。最後のキャンプファイヤーは、僕の記憶の中に大切にしまっておきたいと思います。





## ビーバーでの経験

BVS隊保護者 奥村 友美

長男が幼稚園年長の時、クラスメイトのお母さんが一日体験に誘って下さったのがきっかけで入団しました。ちょうどその頃、私は長男に少しでも何か経験をさせたくて色々なところへ見学させたりはしましたが、どれもピンとこなくて迷っていました。実際にスカウトを体験してみると、思った以上に活動の内容や団の雰囲気がよく、何より長男がとても楽しんでいたので、H17. 6にビーバーへ入隊しました。長男は隊の中では体が小さく、体力もあまりないので疲れやすく、すぐにしゃがみ込んでしまいます。はたしてこんな状態でビーバーの活動がやっていけるのだろうか、不安でした。でも隊の仲間に出会うことがうれしらしく、いつも喜んで参加します。ビーバーに入って初めてのハイキングの時は、自然や虫などに触れ、みんなと一緒に長い距離を歩きました。また、初めての川遊び、すいか割りなども経験しました。最近では年少組の次男も一緒についてくるようになりました。ここまでこれたのも隊の皆さんのおかげです。これからもスカウトの目的である「よりよき社会人となり幸福な人生を送ること」に対し何か力になれば、と思います。「団はもう一つの家族です。」

## 名古屋67団にお世話になって

BS隊保護者 加藤 千晴

ご縁があって名古屋67団に入団したのは息子が中学1年の時でした。それまでボーイスカウトの経験は無く、67団は西地区でも優秀な団だと聞いていたのでついていけるか心配でした。入団した年は愛知万博と名古屋地区40周年の行事があり普段の活動とは違った様々な奉仕活動を体験させていただくことが出来ました。ボーイスカウトは学校と違って遅い子にあわせてくれるから大丈夫だよ、とか、ボーイ隊が本来のボーイスカウト活動をするからボーイ隊までは続けたほうがいいよ、と聞いてましたが、指導者の方々の暖かいご指導やスカウトの仲間の皆さんの励ましのお陰で途中からでもどうにかボーイ隊を終えることができ、楽しい思い出を沢山つくる事が出来ました。67団の皆様本当に感謝しております。ありがとうございました。



思い出 「いもほり」

BVS隊 まき かずよし



ありがとう、67団

CS隊保護者 山崎 嘉代

我が子は、ビーバー隊から入隊、カブ隊へと上進し、5年間お世話になりました。一人っ子の我が子は、週末寂しい思いをすることなく、スカウトハウスへ行けば仲間に加え、一緒に楽しく時間を過ごすことが出来ました。また、大勢の大人に囲まれ、安心して、のびのびと活動に参加することが出来ました。私も保護者として、行事ごとに他の方と一緒に、裏方として子供たちの活動をサポートしてきました。そこでは、学区を越えたいろいろな方達と知り合う事ができました。何回か一緒に作業していくうちに連帯感が生まれ、子育てや仕事の悩みなど、何でも話せる友人を得ることができました。我が子が「くま」に上進したとき、「デンリーダー」という役を受け、最後の一年間は子供達のお世話をさせていただきました。私自身が「デンリーダー」を体験したことによって、今まで我が子を担当して下さった先輩のお母さん方や、隊長達の大変さや苦勞を身にしみて感じました。それと同時に、叱ったり励まして下さったことへの感謝の気持ちも改めて思いました。様々な活動を通していろいろな方々に見守られ、しつた激励されたり、誉められた経験は子供にとって何事にも代え難い貴重なものだと思います。また、私自身にとっても互いの子供を認め合い、励まし合える仲間に出会えて、本当によかったと思います。

## 主な行事報告

4月16日(日) 復活祭

5月3-5日 瀬戸舎営(CS・BS隊)

6月4日 地区合同運動会(BVS隊)

7月9日(日) 着衣水泳(BS隊)

8月3-7日 日本ジャンボリー

8月12-15日 夏季キャンプ(CS・BS隊)

## 主な年間行事(予定)

11月5日(日) 教会バザー

12月17日(日) クリスマス会(団行事)

1月6-7日 XC スキー(BS 隊)

2月4日(日) GB雪中ハイク(BS隊)

2月11日(日) B-P祭(団行事)



## 編集からの一言

いつもスカウト活動への御理解・御協力有難う御座います。ふくろう通信では出来るだけ生の活動をお伝えするために、活動中のスカウトの写真を御提供頂けるととても助かります。また、引続きホームページへの投稿や御意見・御要望のUPも宜しくお願いします。URLは「<http://www.nagoya67.com/>」となっています。

ふくろう通信 新聞部:

野尻、山崎、梶間、葭川、小川、  
後藤、加藤、浅井、木村

